

公益財団法人しまね国際センター 令和7年度事業報告

○公益目的事業Ⅰ

（多文化共生の地域づくり・国際交流・協力に関する事業）

1. 交流・場づくり事業 <関係づくり>

外国人住民と日本人住民との交流の場づくりや、外国青年等の受入れ・交流を通し、お互いの文化や生活習慣等を知り、多文化共生への関心を広げ、相互理解を深めた。

（1）外国人住民と日本人住民との交流事業

外国人住民と日本人住民の交流や情報交換のできる場を提供した。

ア SIC多文化ひろば

（ア）親子のひろば

①世界のあそびひろばin浜田

（フィリピン&ベトナム）

日 時 2025年8月17日（日）10:30-12:00

場 所 長浜まちづくりセンター（浜田市）

参加者 17人

内 容 多文化紹介クイズ、フィリピン・ベトナムの遊び

②親子であそぼう！世界のあそびin大田

（フィリピン&ブラジル）

日 時 2025年11月24日（月・祝）10:30-12:00

場 所 おおだふれあい会館（大田市）

参加者 47人

内 容 タガログ語・ポルトガル語でのあいさつ紹介、多文化紹介クイズ、ポルトガル語・日本語での紙芝居読み聞かせ、フィリピン・ブラジルの遊び

イ 人権ユニバーサル事業（県受託事業）

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、「国籍、年齢、障がいの有無、性的指向や性自認などの違いを理解し、自然に受け入れ、互いに認め合う共生社会」、いわゆる「人権ユニバーサル社会」を実現し、次世代に承継していくための取組として、県人権同和対策課が国から受託する「人権ユニバーサル事業」を当センターが再受託して開催した。

日 時 2025年9月2日（火）13:30-15:30
場 所 島根県民会館（松江市）
参加者 351人
内 容 講演会「ボクの人生は”違い”から始まった～多文化共生ってなんだろう？～」
講 師 星野ルネ

（2）青年交流事業

ア 北東アジア交流の翼 in しまね（県受託事業）

北東アジア地域の青年と県内青年との交流プログラムを実施することにより、ネットワークづくりと人材育成を行った。

（ア）事前研修（全3回）

日 時 ①2025年6月7日（土）13:30-16:45
②2025年7月16日（水）18:30-19:30
③2025年8月6日（水）18:00-20:00
場所等 しまね国際センター（オンライン併用）
参加者 島根青年7人
内 容 ①自己紹介、事業説明、役割分担、プログラム内容検討
②各プログラム内容検討
③各プログラム内容検討

（イ）交流プログラム

期 間 2025年8月22日（金）～8月27日（水）
開催地 島根県東部（松江市、出雲市）
参加者 18人（韓国7、中国4、日本7）
内 容 開会セレモニー、交流活動、テーマに関する講義・体験活動、意見交換会など
※ホームビジット（外国青年のみ）、協力家庭 10家庭

(ウ) 事後研修

日 時 2025 年 8 月 27 日 (水) 10:00-12:00
場 所 しまね国際センター (松江市)
参加者 島根青年 6 人
内 容 プログラムに参加しての感想、振り返り、まとめ
将来への抱負ほか

(エ) 合同報告会

日 時 2025 年 12 月 13 日 (土) 13:30-16:30
場 所 松江テルサ (松江市)
参加者 島根青年 6 人
内 容 活動報告

(3) プログラムコーディネート事業 (県受託事業)

一般財団法人自治体国際化協会が実施する外国青年招致事業 (JETプログラム) により、県・市町村が招致する外国青年について、受入や配置に係るコーディネート、県内での研修プログラムの企画・運営、カウンセリングを行った。県 (文化国際課内配置) 国際交流員については、業務の調整も行った。さらに、県の情報を海外へ発信するための情報誌を作成した。(年2回、Web掲載)

また、内閣府の青年国際交流事業、独立行政法人国際協力機構、民間団体等の国際交流や国際協力に関して連携・調整・支援等を行った。JICA日系社会研修員 (長期研修1名) を受け入れた。

2. 担い手育成事業 <担い手育成>

外国人住民を取り巻く課題や社会的なニーズに対応するために、主体性を発揮して支援活動を行おうとする地域住民に対して基礎的・専門的な研修等を行い、担い手を育成した。

(1) 担い手育成事業

ア 日本語教育人材（県受託事業）

SICにほんごコースで活動する日本語教育人材の養成を行った。

(ア) a. 日本語パートナー入門講座

日 時 ①2025年5月12日（月）～24日（土）

②2025年5月17日（土）13:30-16:30

③2025年5月24日（土）13:30-16:30

④2025年5月24日（土）～31日（土）

⑤2025年5月31日（土）13:30-16:30

場所等 ①④オンライン（オンデマンド動画視聴）

②③⑤浜田まちづくりセンター（浜田市）

参加者 28人

内 容 ①オリエンテーション「島根県の外国人住民の状況」

「SICの日本語教育支援事業の紹介」

②講義「日本語パートナーと日本語教室の活動のこと」

ワークショップ

「国際理解・異文化間コミュニケーション」

③実習「やさしい日本語」

④講義「オリジナル教材の使い方」

⑤実習「オリジナル教材の使い方」

講 師 ①仙田 武司（しまね国際センター）

岩田 和美（しまね国際センター）

②斎藤 哲瑯（SICにほんごコース日本語パートナー）

野上 明子

（日本語ボランティアグループ マリントークの会）

横田 裕二（日本語ボランティアグループ いちにさん）

橋本 優香（広島市日本語教育コーディネーター）

③④佐藤 智照（島根大学外国語教育センター）

③岩田 和美（しまね国際センター）

⑤泉 沙南

（SICにほんごコース《ネットでのほんご》日本語教師）

b. 日本語パートナーオンライン対応講座

日 時 2025年6月11日（水）18:30-20:00

方 法 オンライン

参加者 12人

内 容 オンライン形式の「となりでにほんご」活動説明、
受講者同士での活動体験

講 師 岩田 和美（しまね国際センター）

(イ) a. 日本語教師養成講座【新規】

期 間 ①2025年6月23日（月）～7月1日（火）

②2025年7月1日（火）～12月21日（日）

③2025年7月1日（火）～12月17日（水）

④2025年8月30日（土）～12月21日（日）

場所等 ①オンライン（オンデマンド動画視聴）

②オンライン（オンデマンド動画視聴）

③オンライン

④出雲弥生の森博物館・出雲市民会館（出雲市）

参加者 28人

修了者 27人

内 容 ①オリエンテーション「島根県の外国人住民の状況」

「SICの日本語教育支援事業の紹介」

②講 義「日本語教育概論」「文法」「第二言語習得」

「地域の生活者と日本語教育」他

（計39時間）

③講義・演習「地域の日本語教育・日本語教室について」

「日本語教師の役割」他

（2時間×20日間＋課題学習 計49時間）

④講義・演習「日本語教師に求められる資質・能力に

ついて考えてみよう」「実習をしよう」他

（4時間×8日間 計32時間）

講 師 ①仙田 武司（しまね国際センター）

岩田 和美（しまね国際センター）

②加藤 早苗（インターカルト日本語学校）他

③伊藤 祐郎

（国際教養大学 専門職大学院グローバル・コミュニケー

ション実践研究科 日本語教育 実践領域 特命教授）他

④斎藤 美幸（インターカルト日本語学校）他

b. SICにほんごコース日本語教師養成講座 勉強会

日 時 2026年1月20日（火）・27日（火）・2月3日（火）・
10日（火）・17日（火）・24日（火）
19:00-20:00

方 法 オンライン

参加者 23人

内 容 「ホストとしてのZoom操作（説明と練習）」「Googleド
ライブ等を活用したデータ管理（説明と練習）」「オン
ラインで『いろどり』で教える（参加者同士での練習）」

講 師 岩田 和美（しまね国際センター）

イ 子どもサポーター（県受託事業）

最近ニーズが増大、多様化しつつある外国にルーツをもつ子どもに対する
日本語学習支援を推進するため、支援者不足が懸念される地域で養成講座を
行った。

(ア) 外国にルーツをもつ子どもの学習支援ボランティア養成講座

日 時 ①2025年5月26日（月）～7月18日（金）

②2025年6月14日（土）9:30-12:30

③2025年7月5日（土）13:30-16:30

④2025年7月6日（日）9:30-12:30

⑤2025年7月19日（土）13:30-16:30

⑥2025年12月6日（土）13:30-16:30

場所等 ①オンライン（オンデマンド動画視聴）

②オンライン

③出雲市民会館（出雲市）

④⑥益田市市民学習センター（益田市）

⑤ビッグハート出雲（出雲市）

対象者 外国にルーツをもつ子どもの学習支援に関心のある方等

参加者 ②52人 ③32人 ④13人 ⑤29人 ⑥13人

内 容 ①オリエンテーション「島根県の外国人住民の状況」

「SICの日本語教育支援事業の紹介」

②講義「外国にルーツをもつ子どもの教育」

③④講義

「島根県の外国にルーツをもつ子どもたちの状況」

「出雲市の外国にルーツをもつ子どもたちの状況」

「益田市の外国にルーツをもつ子どもたちの状況」

外国ルーツの方・保護者の経験談

⑤⑥講義・ワークショップ

「地域と支援者の得意分野を活かした子どもの
居場所づくり」

講 師 ①仙田 武司（しまね国際センター）
 岩田 和美（しまね国際センター）
 ②⑤⑥南浦 涼介（広島大学大学院人間社会科学研究科）
 ③④大谷 淳司（島根県教育庁学校教育課）
 多久和 孝司（出雲市教育委員会学校教育課）
 大田 直子（益田市教育委員会学校教育課）
 新川 美佐絵（JICA中国）
 小波津 チアゴ 明（JICA中国）
 片山 美弥（広島大学大学院、
 JICAスリランカ事務所前企画調査員）
 首藤 あずさ（JICA中国）

ウ コミュニティ通訳ボランティア

新規ボランティアの養成を主な目的として、コミュニティ通訳ボランティア養成講座を実施した。

(ア) 養成講座（全2回）

日 時 ①2025年12月6日（土）9:30-16:30
 ②2025年12月7日（日）9:30-16:30
 方 法 オンライン
 対象者 コミュニティ通訳ボランティア、活動に関心のある方
 参加者 ①18人 ②16人
 内 容 ①講義「社会の中で通訳が果たす役割、通訳倫理（前編）、
 通訳技術（前編）」
 演習「言語別ロールプレイ（耳鼻咽喉科、心療内科、
 小児科）」
 ②講義「通訳倫理（後編）、通訳技術（後編）、
 通訳の事前準備」
 演習「言語別ロールプレイ（産婦人科、脳神経外科、
 入院・術前準備）」
 講 師 講義：森田 直美（全国医療通訳者協会 NAMI）
 演習：森田 直美（NAMI）
 鈴木 万里子（NAMI）
 佐藤 ペティ（NAMI）
 岩本 弥生（NAMI）
 ビアンカ チャン（島根県国際交流員）
 三浦 カロリナ 百恵（島根県国際交流員）
 ニコラス・マッカラ（松江市国際交流員）
 イーサン オブライアン（松江市国際交流員）
 李 海冰（しまね国際センター）
 イナダ イアゴ（しまね国際センター）

(イ) 勉強会

上記養成講座を登録者向け勉強会として開催した。

エ 災害時外国人サポーター（県受託事業）

外国人住民の災害に対する意識の向上と、災害時に外国人住民をサポートするボランティアの確保・増員を図るため、自治体と連携しながら開催した。

(7) 災害時外国人サポーター養成研修

①東部会場

日 時 2025年10月4日(土)9:30-12:30

場 所 出雲市高松コミュニティセンター（出雲市）

参加者 25人

内 容 講義・演習

「災害時に外国人が直面する課題、災害時に求められる支援」、情報翻訳訓練、避難所巡回訓練、外国人住民との交流活動

講 師 目次敦美（多文化共生マネージャー）

主 催 島根県、しまね国際センター、出雲市

②西部会場

日 時 2025年10月5日(日)9:30-13:00

場 所 六日市基幹集落センター、
吉賀町民六日市体育館（吉賀町）

参加者 7人

内 容 講義・演習

「災害時に外国人が直面する課題、災害時に求められる支援」、情報翻訳訓練、避難所巡回訓練、外国人住民との交流活動

講 師 目次敦美（多文化共生マネージャー）

主 催 島根県、しまね国際センター、吉賀町

【参考】

ボランティア登録者数

・日本語パートナー（SICにほんごコース）	110人
・子どもサポーター	142人
・コミュニティ通訳ボランティア	63人
・災害時外国人サポーター	99人

計 414人

（前年度末 合計391人）

3. 相談・支援事業 <相談・支援>

外国人住民が自立した社会生活が送れるよう多言語で各種相談に応じるとともに、外国人住民が社会参画する上での課題解決を図るため、行政・専門家・ボランティア等と連携して、様々な支援を行った。

(1) 生活情報提供・相談事業

多言語による各種の相談に対応し、必要に応じて専門機関の紹介等を行うほか、弁護士・臨床心理士による専門相談対応も行った。困難事例については、ケースワークを行い、相談から解決まで継続かつ一貫して支援した。行政窓口や各種相談窓口との連携強化も図った。また、出雲市役所からの依頼に応じた出前相談を実施したほか、オンライン、SNSによる相談も実施した。

ア SNSによる生活情報提供（県受託事業）

ワンストップ型相談窓口に寄せられる相談内容をもとに、外国人住民が必要としている情報を把握し、SNSを活用した効果的な情報発信を行った。

対応言語 やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語

方 法 Facebook、X（旧Twitter）

イ 相談窓口の開設（一部県受託事業）

(ア) ワンストップ型相談窓口 多言語相談Go-enしまね

対応言語 23言語（相談員と多言語コールセンターによる対応）

時 期 通年

方 法 電話（三者通話システム）、メール、SNS、
来所、Zoom

相談者数 768人（東部 749人、西部 19人）（前年度 856人）

相談件数 1,125件（東部 1,102件、西部 23件）
（前年度 1,251件）

相談内容 通訳・翻訳、教育、雇用・労働等

(イ) 無料法律相談

日 時 毎月第3水曜日13:30-15:20

場 所 しまね国際センター（松江市）

相談件数 18件（前年度 13件）

相談内容 労働問題、パワハラ、遺産相続、債務整理、国籍、
離婚、交通事故、賃貸トラブル等

(ウ) 出前相談

場所及び回数 出雲市役所 1回

相談件数 1件（前年度 6件）

相談内容 在留資格等

(エ) 外国人住民からの相談対応にかかる関係機関情報交換会

日 時 2025年11月28日（金）10:00-12:00
場 所 島根県民会館（松江市）
内 容 県内外国人住民の状況、「多言語相談Go-enしまね」・
相談員の紹介、連携事例、情報交換・意見交換
出席機関 17機関

ウ 外国人地域サポーター（県受託事業）

複雑化・深刻化する外国人相談事例に対応するため、外国人住民と行政等の橋渡し役として配置された「外国人地域サポーター」が活動を的確に行えるよう支援した。

サポーター数 16団体・個人

活動自治体 松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、
江津市、雲南市

委嘱期間 2025年4月1日～2026年3月31日

活動実績 737件（前年度 693件）

支援内容 連絡会議の開催、関係機関との連絡調整等

(7) 連絡会議（全2回）

日 時 ①2025年5月29日（木）10:00-12:00
②2025年12月10日（水）13:30-15:30

方 法 ①オンライン
②あすてらす（オンライン併用）（大田市）

内 容 ①自己紹介、令和7年度の取組について、協力依頼（令和7年度国政調査について）、情報交換・意見交換（グループ別）、意見交換（全体）
②島根県外国人地域サポーター10年の活動報告・令和7年度活動報告、各市の動き・状況、意見交換

出席者 外国人地域サポーター、市担当課職員、県文化国際課・
雇用政策課及びしまね国際センター職員

(イ) サポーター向け研修会の開催

a. 鳥取県多文化共生サポーター・島根県外国人地域サポーター
合同研修会

日 時 2025年7月17日（木）13:45-15:45

場 所 鳥取県西部総合事務所（鳥取県米子市）

参加者 64人（鳥取県多文化共生サポーター、島根県外国人地域サポーター、山陰両県の市町村職員など）

内 容 ①勉強会「育成就労制度の概要、広島出入国在留管理局における在留支援の取組」
②ワークショップ「これからの多文化共生の地域づくりにむけたサポーター制度の充実」

③講評

- 講 師 ①広島出入国在留管理局
②土井 佳彦（NPO 法人多文化共生リソースセンター
東海代表理事）
③広島出入国在留管理局

b. 島根県外国人地域サポーター研修会

- 日 時 2025 年 10 月 30 日（木）14:00-15:00
場 所 しまね国際センター（オンライン併用）（松江市）
参加者 外国人地域サポーター・市担当職員・県文化国際課・SIC
職員
内 容 外国人の国民年金加入と保険料納付の現状と課題
講 師 三澤 和久（日本年金機構松江年金事務所所長）

エ 外国人等短期宿舎提供

来県直後や帰国前にアパート等宿舎が確保されていない留学生をはじめとする居住支援の必要な外国人等に、しまね国際研修館を宿舎として短期間提供した。

- 人数等 2人（バングラデシュ）
宿泊数 延べ14泊（前年度 3人・延べ13泊）

（2）日本語学習支援事業

日本語学習機会の充実を図るとともに、日本語ボランティア教室や市町村・関係機関等と連携して、地域日本語教育の体制整備に向けた取組を行った。

ア 外国人住民向け（県受託事業）

県内の外国人住民が、それぞれの日本語習得レベルに応じた、日常生活に必要な日本語を学習できる環境を整備した。

（ア）となりでにほんご

オリジナル教材『となりで日本語』を使用した、日本語パートナーとのペア形式の学習。

- 時 期 2025年5月～2026年2月
回 数 90分×10回×5期
場所等 学習者の自宅・公共施設（公民館等）・オンライン
学習者 56人
(アメリカ、アフガニスタン、ガーナ、コロンビア、中国、トリニダード・ドバコ、日本、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、ブラジル、ベトナム)
参加者 日本語パートナー 延べ 36人
内 容 トピック型対話教材を使用し、学習者が自分に関すること

を簡単な単語や表現を使って話し、日本語パートナーと交流する。

(イ) ネットでにほんご

日本語教師によるオリジナル教材を使用した、オンライン形式の学習。

a. 基礎クラス

時 期 2025年5月～2026年2月
回 数 120分×12回×2期（前期・後期）
方 法 オンライン
学習者 19人
前期10人（アメリカ、インドネシア、中国、ドイツ、
パキスタン、バングラデシュ）
後期9人（インド、中国、バングラデシュ、フィリピン、
ブラジル）
指導者 日本語教師
内 容 ひらがな・カタカナの学習、日常生活において簡単な
コミュニケーションができるレベルの会話

b. レベル別クラス

時 期 2025年5月～2026年2月
回 数 120分×20回×3クラス×2期（前期・後期）
方 法 オンライン
指導者 日本語教師
学習者 49人
①入門 15人
前期4人（イギリス、ブラジル）
後期11人（アメリカ、インドネシア、ドイツ、バング
ラデシュ、フィリピン、ブラジル、ベトナム）
②初級Ⅰ 18人
前期8人（タイ、ネパール、バングラデシュ、フィリ
ピン、ベトナム、ミャンマー）
後期10人（アメリカ、インドネシア、ギリシャ、バング
ラデシュ、フランス、ベトナム、ベルギー）
③初級Ⅰ後期 16人
前期1人（アメリカ）
後期15人（ケニア、タイ、中国、トリニダードトバゴ
ネパール、バングラデシュ、パキスタン、
フィリピン、ブラジル、ベトナム、ミャンマー）
内 容 日常生活において必要な日本語の会話

(ウ) SICにほんごコース交流会

日 時 ①2025年12月10日（水）10:00-12:00
②2025年12月11日（木）19:00-21:00

方 法 オンライン
 参加者 ①12人（うち学習者6人）②24人（うち学習者15人）
 内 容 日本語や学習者の母語での「こんにちは」紹介、
 自己紹介、日本語でのアクティビティ、ブレイクアウトルームでの交流、交流会の感想発表

(エ) 日本語学習体制の整備

a. 総合調整会議

第1回

日 時 2025年5月23日（金）10:00-12:00
 場 所 島根県民会館（オンライン併用）（松江市）
 内 容 令和7年度事業の実施計画について等

第2回

日 時 2025年10月22日（水）10:00-12:00
 場 所 島根県民会館（オンライン併用）（松江市）
 内 容 令和7年度事業の進捗状況について、新プログラム開発・編成プロジェクトの進捗状況について等

第3回

日 時 2026年2月6日（金）14:00-16:00
 場 所 島根県民会館（オンライン併用）（松江市）
 内 容 令和7年度間接補助事業の実施報告、令和7年度事業の実績及び今後の予定について、新プログラム開発・編成プロジェクトの進捗状況について、令和8年度日本語学習の環境整備に係る取組概要（案）について等

b. 「生活Can do」を用いた日本語教育プログラム開発・編成等

時 期 2025年5月～2026年3月
 内 容 「生活Can do」選定のための調査・分析、プログラム開発・編成、評価方法の検討

イ 外国人材受入企業・団体向け（一部県受託事業）

(ア) 職場でにほんご

時 期 2025年4月～2026年3月
 回 数 90分×12回または20回
 利用者 8事業所（出雲市5、松江市3）
 学習者 43人（ベトナム、フィリピン、インドネシア、ミャンマー、ネパール）
 指導者 日本語教師・日本語パートナー
 内 容 『いろどり 生活の日本語』（国際交流基金）、オリジナル教材など

(イ) 短期集中日本語研修

実施はなかった。

ウ 日本語教室運営支援（県受託事業）

外国人住民の日本語学習の場となるだけでなく、多文化共生社会における地域の拠点となりうる日本語教室の運営活性化に向けた活動を支援した。

(ア) 日本語教室マップの作成：3,000部（6か国語併記）

言語 日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、
ベトナム語

配布先 市町村住民登録窓口、出入国在留管理局等

(イ) ボランティア保険費用の補助

補助数等 7教室69人

(ウ) 教材・運営方法等についての支援

a 島根県オリジナル教材の無償提供

教材名 ①『いっしょににほんごしまねけん』

②『となりでにほんご』

（英語・中国語・ポルトガル語・ベトナム語版）

③『となりでにほんご』

（クメール語・インドネシア語・ミャンマー語・
ネパール語版）

提供先 ①9教室38冊、②9教室51冊、③9教室14冊

b 日本語教室向け出前講座の実施

実施数 2教室

内 容 講義・演習

「島根県オリジナル教材の使い方」

「『日本語教育の参照枠』について」

(エ) 市町村・日本語教室連絡会議の開催【新規】

日 時 ①2025年7月30日（水）15:15-16:45

②2025年8月7日（木）15:15-16:45

場 所 ①島根県立大学浜田キャンパス（浜田市）

②島根県庁本庁舎（松江市）

対 象 市町村、地域日本語教室、総合調整会議委員

参加者 ①市町村5団体、日本語教室6団体

②市町村4団体、日本語教室5団体

内 容 日本語ボランティアグループ活動状況調査結果報告、
外国人材受入れ関連施策の情報提供、グループ別
情報交換・意見交換（テーマ：「地域住民」としての
外国人材との共生に向けた地域の日本語教育について）

(オ) 地域日本語教育相談窓口の設置【新規】

日本語教室、行政、企業、学習者、支援者等からの地域日本語教育に関する相談に対応し、取り組みを支援した。

時 期 随時

相談件数 136件

相談内容 日本語学習方法、日本語指導方法、外国人材に対する日本語教育、外国にルーツをもつ子どもの進学等

エ やさしい日本語の普及（県受託事業）

外国人にも理解しやすい「やさしい日本語」を普及促進するための研修を実施した。

対象者 自治体職員、一般県民等

内 容 講義・演習

「やさしい日本語」の概要、言い換え・書き換えの方法等

実施件数 32件（前年度 16件）

(3) 外国ルーツの子どもの学習支援事業

外国にルーツをもつ子どもが学校の授業に参加し学力の定着を図るための学習支援や高校進学のための学習支援等を実施し、外国にルーツをもつ子どもの学習機会を確保した。

ア 検討会

第1回

日 時 2025年5月8日（木）14:00-16:00

場 所 出雲市民会館（オンライン併用）（出雲市）

内 容 事業説明、情報共有、学習支援教室開催方法・子どもサポーター研修の開催・日本語学習の日の開催・交流の日の開催に関する協議

第2回

日 時 2025年7月22日（火）14:00-16:00

場 所 出雲市民会館（オンライン併用）（出雲市）

内 容 情報共有、学習支援教室実施状況・子どもサポーター研修実施状況・日本語活動の日実施内容の報告、学習支援教室開催・交流の日開催等に関する協議

第3回

日 時 2025年12月11日（木）14:00-16:00

場 所 サンアビリティーズいずも（オンライン併用）（出雲市）

内 容 情報共有、学習支援教室の実施状況・子どもサポーター研修の実施状況・日本語活動の日の実施状況・交流の日の実施状況の報告、事業のまとめ、来年度事業に向けた意見交換

イ 学習支援教室

期 間 2025年5月～2025年12月（全42回）
場 所 出雲市立ひかわ図書館、直江コミュニティセンター、アク
ティーひかわ（出雲市）
松江市総合福祉センター（松江市）
益田市立図書館、益田市市民学習センター（益田市）
内 容 外国にルーツをもつ子どもの学習支援
参加者 学習者：延べ268人（アフガニスタン、中国、フィリピン、
ブラジルほか）
ボランティア：延べ256人

ウ 交流の日

日 時 2025年9月7日（日）10:00-15:00
場 所 吉栗の郷（出雲市）
内 容 アイスブレイク、外遊び、中遊び、ごはんづくり、川遊び
等の交流活動
参加者 133人（子ども50人、大人31人、ボランティア等47人）

エ 日本語活動の日

日 時 ①2025年7月20日（日）14:00-16:00
②2025年7月27（日）14:00-16:00
③2025年8月3日（日）10:00-15:00
場 所 ①②出雲市立ひかわ図書館（出雲市）
③出雲ケーブルビジョン、出雲市民会館（出雲市）
内 容 ①自己紹介、日本語学習
②日本語学習、図書館での仕事について聞く
③テレビ番組制作体験、ハンドマッサージ体験、それぞれ
の仕事について聞く、振り返り
参加者 4人
協 力 出雲ケーブルテレビジョン株式会社
中医アロマサロンneko～寧香～
出雲市立ひかわ図書館

(4) コミュニティ通訳ボランティア派遣事業

外国人住民が、行政機関や学校・病院等の公共機関を利用する場合、日本語の能力の問題から意思疎通が十分できず、困難な状況が生じることがある。そのため、コミュニケーションが円滑に図られるよう、外国人住民・関係機関からの要請に基づきコミュニティ通訳ボランティアを派遣した。

派遣件数 125件（前年度 117件）

言語内訳 英語 77 件、中国語 35 件、ポルトガル語 12 件、
タガログ語 1 件

派遣先 病院、学校、各種相談窓口等

コミュニティ通訳ボランティア登録者数 63 人（再掲）

(5) 外国人住民防災・災害時支援事業

災害時外国人住民は、災害に関する情報が入手できない、災害に関する日本語が分からないこと等により、弱い立場に置かれることが多い。災害時でも外国人住民が安心できるよう、島根県災害多言語支援センターを設置・運営すること、多言語情報を発信すること等により外国人住民を支援するため、島根県災害多言語支援センター設置運営の体制を整備し、島根県総合防災訓練に参加した。

ア 島根県総合防災訓練

日時 2025年10月18日（土）9:00-12:30

場所 松江市立島根中学校（松江市）

内容 外国人避難者対応訓練

(6) 外国人留学生奨学金事業

留学生にとって日本の高い生活費は、勉学する上で大きな障壁となっており、経済的に厳しい状況にある。彼らの真摯な勉学への姿勢は多くの人の共感を得、彼らを支援しようと多くの寄附金が寄せられている。この寄附金に当財団の財源を加えて、奨学金を給付した。

ア しまね国際センター外国人留学生奨学金

対象者 県内の大学等に在籍する私費留学生
（他の奨学金を受けていないこと）

奨学金 月額2万円（1年間交付）、年額24万円/人

奨学生 12人（島根大学7人、坪内総合ビジネスカレッジ1人、
トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校1人、
リハビリテーションカレッジ島根3人）

イ 寄附募集

時 期 通年（特に11月～2月）

内 容 奨学生の現況を添えて、県民一般に広く寄附を募った。

寄附金総額 1,853,022円

個人：264件 678,500円

団体：17件 1,174,522円

4. 協働推進・助成顕彰事業 <協働・連携>

国際交流団体、市町村等と連携を図るとともに、民間団体が行う多文化共生の地域づくり、国際交流・協力活動を支援した。

(1) 協働推進事業

ア 海外ネットワーキング

(ア) 海外移住者支援

南米の移住者の文化活動、教育指導・援助活動等に、県人会を通じて必要な経費の一部を助成するとともに各種情報の提供を行った。

南米移住者県人会への助成額

ブラジル 50万円 (170世帯 440人)

※ペルーからは申請がなく、助成しなかった。

(イ) 島根県海外移住家族会支援

県と連携を図り、島根県海外移住家族会事業を支援した。

家族会 正会員 49人

特別会員 5市4町、7団体、5個人

イ 県内ネットワーキング

(ア) 国際交流団体・市町村等連携会議

国際化推進・多文化共生活動を行う団体等と市町村が一堂に会し、意見交換する場を設けた。（県との共催事業）

日 時 ①松江会場 2025年8月7日（木）13:00-15:00

②浜田会場 2025年7月30日（水）13:00-15:00

場 所 ①島根県庁本庁舎（松江市）

②島根県立大学浜田キャンパス（浜田市）

参加者 ①26人 ②16人

(イ) SICキャンパス

多文化共生や外国人支援、国際理解教育等に関心のある中高生や大学生に対して、フィールドワークの支援やインターンシップ受け入れなど、体験学習の機会を提供した。

実施件数 1件（前年度 7件）

(2) 助成顕彰事業

ア 助成金交付

地域が国際化するためには、民間団体や住民が積極的に国際交流や多文化共生に関与することが必要である。そのため、住民主体の国際交流・協力や日本語教室など多文化共生に資する事業に対し、助成した。

助成額 1事業当たり上限20万円

補助率 2/3（但し、日本語教育事業については3/4）

申請件数 14件（前年度 12件）

助成件数 13件（前年度 10件）

助成額 1,615千円（前年度 1,155千円）

イ 功労者顕彰

島根県の国際化に尽力し、また当センター事業に多大な貢献をするなど、その功績が特に顕著な個人・団体を顕彰した。表彰式は、市町村・国際交流団体等連携会議（松江会場・浜田会場）で行った。

表彰状（敬称略） 2団体・3個人

- ・雲南日本語広場さくらSAKURA（雲南市）
- ・日本語ボランティア「奥いずも」（奥出雲町）
- ・陰山 亮子（出雲市）
- ・山田 知子（出雲市）
- ・束村 由里（邑南町）

5. 広報・啓発事業 <多文化共生の意識醸成>

外国人住民に対して地域で円滑に生活していくための様々な情報を提供した。また、日本人住民に対しては、外国人住民に対する理解と国籍や民族の違いを超えて外国人住民と共生する地域づくりの意義や大切さについて機関誌やイベントを通じて広報・啓発した。

(1) 広報事業

外国人住民及び日本人住民に対してホームページ、SNSにより、生活情報やイベント情報等を多言語で提供するとともに、機関紙等により、多文化共生に関する情報や当センターの事業について周知した。

ア ホームページ

対応言語 日本語（ふりがな機能付き）、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語

イ SNS

対応言語 日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語

方 法 Facebook、Instagram、YouTube

ウ 機関誌「まいるすとんず」（2,000部）年1回 2025年12月発行
国際理解や多文化共生の意義や大切さについて広報した。

配布先 市町村、県内公共施設、大学、賛助会員、ボランティア登録者、県内国際交流団体、県外地域国際化協会等

エ 「SIC応援団ニュース」（250部）隔月

センターの取り組みや事業の成果を報告した。

配布先 賛助会員、県、市町村等

（2）啓発事業

講師派遣やイベント出展等を通じて、多文化共生の意義や必要性について県民の理解を促した。

ア 講師派遣

多文化共生の意義や実践方法等について、各種団体の要請を受けて講師を派遣した。

派遣件数 32件（前年度 17件）

派遣先 自治体、行政機関、中学校、大学、外国人材受入団体等

内 容 「やさしい日本語」について、外国人の人権、等

イ イベント出展

(ア)海遊祭

日 時 2025年10月12日（日）～13日（月・祝）

場 所 島根県立大学浜田キャンパス（浜田市）

内 容 多文化共生に関する展示、ワークショップ

(イ)しまね人権フェスティバル

日 時 2025年12月14日（日）12:00-16:00

場 所 出雲市民会館（出雲市）

内 容 多文化共生に関する展示、缶バッジ作り

ウ 多文化リソースの提供

(ア) 図書の貸出

(イ) 国旗・卓上旗等の貸出

外国国旗等の保有状況（国連旗等含む）

国 旗 89か国 215枚

卓 上 旗 88か国 184枚

貸出実績

図書	国旗	卓上旗
45	4	2

○法人会計

1. 会議の開催

(1) 理事会・評議員会

場 所 島根県民会館（松江市）

ア 理事会

第1回 2025年5月19日（月）決議の省略

第2回 2025年6月2日（月）14:00-16:00（通常理事会）

第3回 2025年8月7日（木）決議の省略

第4回 2026年3月4日（水）10:00-12:00（通常理事会）

イ 評議員会

第1回 2025年5月27日（火）決議の省略

第2回 2025年6月19日（木）10:00-11:30（定時評議員会）

第3回 2025年8月28日（木）決議の省略

2. 会議、研修会への参加

(1) 中国・四国地域国際化協会連絡会議

日 時 2025年12月15日（月）13:30-16:50

場 所 ひろしま国際センター（広島県広島市）

出席者 常務理事 安部山 亨

事業推進課主任 古曳町子

地域日本語コーディネーター 深谷真子

内 容 各協会の概況報告、提出議題の協議、研修会（「外国人相談窓口業務の役割と関係機関との連携等について、オンライン日本語教室について」ほか）

(2) 災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修事業・現地集合型研修

日 時 2025年8月29日（金）13:00-16:30

場 所 東京体育館（東京都渋谷区）

出席者 総務課 小寺真由美

内 容 講義及び災害時外国人支援訓練の体験

3. 組織体制等の検討

多文化共生業務の増加に対応するため、地域日本語コーディネーターを増員し、業務執行体制の強化を図った。

事務所の移転については、2026年3月の新施設完成を受けて、次年度（2026年4月）から新施設で業務開始できるよう準備を進めた。

○その他、公益法人の運営に関する重要な事項

法人の運営体制の充実を図るための取組

当センターでは、行政・教育・経済・報道・法曹・市民活動の各界から高い専門性と知見を有する人材を理事に選任し、多角的な検証が可能なガバナンス体制を構築している。

2026 年 6 月

公益財団法人 しまね国際センター